

「現場環境改善」の取り組みについて

介護職員の人材不足が予測されるなか業務改善で効率化を図りつつ、生み出された時間を利用者様と直接関わる事で介護の質の向上を目的とし私たち社会福祉法人熊石敬愛会全体で取り組みます。

具体的な取組内容

1. 準備

- ①取り組みメンバー…各セクションから選出された業務改善・接遇マナー検討委員会とする
- ②介護サービスにおける生産性向上の意味を理解し各セクションに伝達する。

2. 課題の見える化

- ①各セクションでまとめた幾つかの課題を持ち寄る
 - ・業務を行う上での不安や不満、ムダ・ムラを挙げてもらい気づきシートを作成し
カテゴライズ、グルーピングをする
- ②課題を分析し優先順位をつける
- ③因果関係図の作成（原因・結果・影響）

3. 計画を立てる

- ①現状の困りごとを数、時間、経費など多方面から数値化し可能なら表にしてみる。
- ②計画⇒実行まで期限を設け各プロセスに担当者を配置する。
- ③サービス品質のバラつきをなくし業務に対する共通意識を持てるように手順書を作成。

4. 実行

- ①手順書に従い無駄を省いた業務を行う。
- ②必要ならば講習や研修を行う。

5. 改善活動の振り返り

- ①業務時間、働きやすさに変化があったか評価をする。
 - ・経験の少ない職員も熟練者も業務時間やケアの質の差は小さくなったか
 - ・業務は効率化した但働きやすさはどうだったか
- ②業務改善を行い、出来た時間を利用者へのケアに反映できたか。
- ③更なる改善が可能ならば再び2. 課題の見える化まで戻り繰り返し直す。